

令和5年度

獨協医科大学・獨協大学
単位互換特別聴講生シラバス

獨協医科大学 看護学部

令和5年度 単位互換特別聴講生 開設科目一覧

科目責任者	科目名	時間数	コマ数 (授業回数)	単位数	開講 セメスター	受講可能 人数
西連地利己	公衆衛生学	15	8	1	2	3
森田 圭子	放射線と看護	15	8	1	4	5

- *セメスター：後学期（10月～3月）2・4・6・8セメスター
 第1学年 2セメスター 第2学年 4セメスター
 第3学年 6セメスター 第4学年 8セメスター
- *時間数：1時限（1コマ）は90分（2時間）とする。
- *受講条件：特に受講条件を設けない（何年生でも受講可能）。

授業科目 (英名)	公衆衛生学 (Public Health)			科目コード	NN206103J
				科目責任者	西連地 利己

1単位	必修	講義	15時間	1学年 2セメスター 専門基礎科目	
-----	----	----	------	-------------------	--

[授業の概要]
公衆衛生学は、現実の社会で起こっているさまざまな健康問題を、個人を取り巻く環境・社会との関連から解明する学問である。環境と健康との関連、ライフステージに応じた健康課題と保健活動について学ぶと同時に、わが国における公衆衛生活動の歴史とその成果を振り返り、社会の変容に伴う公衆衛生活動のあり方について学修する。

[授業の目的]
環境と健康との関連、ライフステージに応じた健康課題と保健活動について学び、社会の変容に伴う公衆衛生活動のあり方について理解する。
(看護の対象を総合的に理解し、科学的な知識・技術に基づいた看護を実践できる)

[到達目標]
1.健康の定義や健康に関連する概念について説明する。
2.生活と健康との関連について説明する。
3.健康と生活の支援に必要な保健・医療・福祉制度について説明する。

回数	月	日	曜日	時限	授業計画	授業外学習		担当者
						事前学習・事後学習	時間	
1	11	13	月	4	【講義】公衆衛生学概論・社会保障 公衆衛生学の視点や考え方、社会保障制度等を学修する	事前学習:教科書および参考図書等の該当部分を読み、疑問点を洗い出しておくこと。	30分	西連地 利己
2	11	20	月	5	【講義】保健統計 国が実施している保健統計(人口動態統計等)について最新の調査結果等を学修する	事後学習:教科書および参考図書等を読み返し、疑問点が解消されたことを確認すること。	30分	
3	11	27	月	4	【講義】高齢者保健・歯科保健 介護保険制度をはじめとした高齢者保健制度および歯科保健制度等を学修する		30分	
4	12	11	月	1	【講義】地域医療・地域保健 医療法、地域保健法、健康増進法など、地域住民の健康づくりための制度等を学修する		30分	
5	12	18	月	1	【講義】産業保健・学校保健・母子保健 産業保健、学校保健および母子保健の制度等を学修する		30分	
6	12	25	月	1	【講義】感染症対策・食品衛生 感染症対策や食品衛生の制度等を学修する		30分	
7	1	15	月	1	【講義】危機管理・災害保険 危機管理対策や災害時の対応等を学修する		30分	
8	1	22	月	1	【講義】精神保健・環境保健・国際保健 精神保健、環境保健および国際保健の制度等を学修する		30分	

[成績評価と基準]
定期試験の成績90%、授業態度(課題提出状況や授業中の小テスト成績を含む)および授業参加度(出席回数)10%とする。授業中の小テストを実施するかどうかは、当該講義の担当教員が授業内に判断する。提出課題がある場合の提出締め切りは、当該講義の担当教員が授業内にアナウンスする。

[履修上の注意]
公衆衛生学は国家試験においても重要な位置を占めることを認識して、教科書および参考書等により、予習と復習を行うこと。なお、期末試験については、授業で取り扱わなかったことであっても、教科書、参考書、保健師国家試験で過去に出題された問題および厚生労働省のホームページに掲載されていることは出題範囲となるので留意すること。

[教科書]
系統看護学講座 専門基礎分野 公衆衛生(医学書院)(電子教科書)

[参考書・参考資料]
公衆衛生がみえる(メディックメディア)
学生のための医療概論(医学書院)
国民衛生の動向(厚生労働統計協会)

[質問への対応(オフィスアワー・E-mail)]
オフィスアワー:水曜日12時～13時
※事前にアポイントを取ること。
E-mail:tossair@dokkyomed.ac.jp(西連地利己)

[備考]
・講義内で実施した練習問題やLMSに挙げられた質問について、講義・LMSなどで回答・解説する。
・成績評価の結果は、「授業評価の回答および成績評価の講評」に記載しフィードバックする。

授業科目 (英名)	放射線と看護 (Radiology and Nursing)			科目コード	NN208225J
				科目責任者	森田 圭子

1単位	選択	講義	15時間	2学年 4セメスター 専門基礎科目	
-----	----	----	------	-------------------	--

[授業の概要]
放射線の性質、放射線が人体や生活環境に与える影響、放射線防護の原則、診断・治療に用いられる放射線の種類と医療画像に関する基礎知識について学修する。さらに、放射線治療による有害事象を理解し、放射線治療を受ける患者と家族に対する看護、および放射線事故発生時の看護の役割について学修する。

[授業の目的]
放射線の性質や放射線が人体および生活環境に与える影響について学び、看護の役割について理解する。
(看護の対象を総合的に理解し、科学的な知識・技術に基づいた看護を実践できる)

- [到達目標]**
1. 放射線診断、放射線治療の意義を説明する。
 2. 放射線の人体への作用機序を説明する。
 3. 放射線の健康影響・リスクと被ばく線量との関係を説明する。
 4. 放射線診断に伴う有害事象(造影剤の副作用等)を説明する。
 5. 放射線診断に伴うリスクと看護を説明する。
 6. 放射線治療に伴う有害事象(副作用)とその看護を説明する。
 7. 医療者自身の被ばく防護方策について説明する。
 8. 放射線被ばくに対する不安の理解と適切な対応について説明する。

回数	月	日	曜日	時限	授業計画	授業外学習		担当者
						事前学習・事後学習	時間	
1	10	18	水	3	【講義】ガイダンス 放射線の性質Ⅰ 放射線の特徴、放射線を用いた画像検査について学修する。	事前学習: 『診療に役立つ放射線の基礎知識 被ばく医療に関するe-learning』の中の「1.総論」～「3.放射線の人体影響」を見て疑問点を整理する。	30分	曾我 茂義 (放射線医学) 森田 圭子
2	10	25	水	3	【講義】放射線の性質Ⅱ 放射線の生物学的影響、医療における放射線防護について学修する。	事前学習: 『診療に役立つ放射線の基礎知識 被ばく医療に関するe-learning』の中の「5.放射線のリスクと防護」を見て疑問点を整理する。	30分	曾我 茂義 (放射線医学)
3	11	1	水	3	【講義】地域保健活動における放射線 コミュニケーション 原子力災害慢性期の地域保健活動における看護師の役割、活動を学修する。	事前学習: 環境省:暮らしの手引き～専門家に聞いた放射線 30のヒント～を見て、疑問点を整理する。	30分	
4	11	8	水	4	【講義】放射線治療の実際Ⅰ/総論 放射線治療の基礎、役割、種類、方法について学修する。	事前学習: 2年前期に履修した『病理学』の中の「腫瘍(1)(2)」を復習する。	30分	江島 泰生 (獨協医科大学病院放射線治療センター)
5	11	15	水	4	【講義】放射線治療の実際Ⅱ/各論 放射線の治療計画、治療結果、チーム医療について学修する。			
6	11	22	水	3	【講義・演習】放射線治療を受ける対象・家族の特徴と心理・社会的支援 最新の研究成果を踏まえ、放射線治療を受ける対象・家族の心理・社会的特徴と①治療前、②治療中、③治療完遂後の看護ケアについて学修する。			ゲストスピーカー 大島 弘子 (獨協医科大学病院がん放射線療法看護認定看護師) 森田 圭子
7	11	29	水	3	【講義・演習】放射線治療による有害事象と症状緩和のためのケア 放射線治療計画の実際、アセスメントの視点、有害事象と症状緩和のためのケアについて学修する。	事後学習: 各々の有害事象と症状緩和のためのケアについてまとめる。	30分	
8	12	6	水	3	【演習】放射線治療を受ける対象・家族に対する教育・日常生活指導の実際 事例を用いてグループワークを実施し、放射線治療を受ける対象・家族に対する教育・日常生活指導を検討する。	事前学習: 課題の事例について、予測される有害事象とそれに対するケアおよび日常生活指導について検討し、第7回講義資料を参考に検討し、グループワーク演習に備える。	30分	

[成績評価と基準]
定期試験70%、グループワークへの参加状況(ディスカッション時の発言など)10%、授業への参加度(リフレクションの記載内容など)20%

[履修上の注意]
事前・事後学習を行い、講義・演習に積極的に参加すること。

[教科書]
特に指定しない。

[参考書・参考資料]

- 1.文部科学省:知っておきたい放射線のこと 高校生のための放射線副読本.
http://www.mext.go.jp/component/b_menu/other/_icsFiles/afieldfile/2011/11/04/1313005_09_1.pdf
- 2.独立行政法人放射線医学総合研究所:医学教育における被ばく医療関係の教育・学習のための参考資料.
https://www.nirs.qst.go.jp/publication/igaku_siryō/igaku_siryō.pdf
- 3.放射線についてお話しします<https://radiation-protection.jp/>
- 4.祖父江由紀子ほか編:がん放射線療法ケアガイド第3版 病棟・外来・治療室で行うアセスメントと患者サポート.中山書店,2019.
- 5.公共社団法人アイントープ協会:看護と放射線ー放射線を正しく理解するー.丸善出版,2016.
- 6.環境省:暮らしの手引き～専門家に聞いた放射線30のヒント～.<https://www.env.go.jp/chemi/rhm/shiencenter/pdf/kurashinotebiki.pdf>
- 7.公益社団法人日本放射線腫瘍学会(監修):やさしくわかる放射線治療学.学研メディカル秀潤社,2018.
- 8.放射線治療ガイドライン2020年版 <https://www.jastro.or.jp/medicalpersonnel/guideline/jastro/2020.html>

[質問への対応(オフィスアワー・E-mail)]

科目担当者への質問は、科目責任者が対応する。
オフィスアワー:水曜日12時～13時(研究室35)
森田 圭子 E-mail:k-morita291@dokkyomed.ac.jp

[備考]

- ・演習時には、与えられた課題に基づいて小グループでディスカッションを行い、各々の意見を発表し合う。
- ・成績評価の結果は、「授業評価の回答および成績評価の講評」に記載しフィードバックする。